

令和7年12月19日

小千谷商工会議所  
会頭 高野 史郎 様

小千谷市長 宮崎 悦男



## 要望書に対する回答

日頃より市政の運営につきまして、特段の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和7年11月4日に貴所より提出のありました要望書につきまして、下記のとおり回答します。

### 記

#### 1. 人手不足を補うための中・長期的施策

将来、当市が若者から働く場所として選ばれるよう、市内事業所の認知を高めるためのキャリア教育を推進するとともに、移住・定住やU・Iターン就職の支援など生産年齢層の人口増加施策に取り組みます。

また、労働時間を削減し、多様で柔軟な働き方を可能とする働き方改革について啓発するとともに、市内事業所が実施する、女性、高齢者、障がい者、外国人材など、多様な働き手が地域に根ざし、自らの能力や特性を活かして働くための環境づくりを支援します。

あわせて、DXの推進をはじめ、設備投資や人材育成など事業者の生産性向上の取組を支援します。

#### 2. 原発再稼働のメリットを経済界が実感できる施策

当市は、緊急防護措置区域内（UPZ：原発から半径5km～30km圏内）であ

るにも関わらず、原発立地自治体である柏崎市・刈羽村に隣接してないために、電源三法交付金制度が全て適用されない不合理な状況となっていることから、この状況を是正すべく、「電源三法交付金制度」の見直しによる、財政支援の実現に向けて、長年にわたり国へ働きかけております。

電源三法交付金制度が見直され不合理な状況が是正されることにより、原子力発電施設等周辺地域相当部分である「立地給付金」や「原子力発電施設等周辺地域企業立地支援事業（F補助金）」及び電力移出県等交付金相当部分の「移出県」などが交付され、電気料金に対する実質的な割引措置等が受けられることとなります。このことにより、市民生活、市内事業所の経営、当市への企業立地、当市の施策や財政など、多方面にわたり非常に大きな影響があると考えられます。

### 3. 市街地の活性化（宿泊施設の整備）

錦鯉産業や鉄工電子産業に関わる方、各種イベントの観光客など多くの方々が年間を通じ当市を訪れておりますが、その来訪者の多くが市外のホテルに宿泊している状況は長年の懸案事項であると認識しております。

現在、市では市街地のまちづくりを考える中でも民間事業者等からホテルの立地に関する情報を収集するとともに、ホテルが立地する環境の整備についても研究を進めております。

引き続き、貴所をはじめとする関係機関などとの連携により、ビジネス客をはじめ、観光客の滞在を促すための取組を進め、市街地の活性化とまちのにぎわい回復につながるよう支援してまいります。

